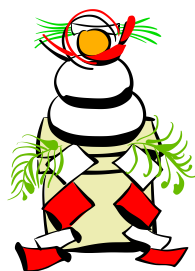




新年あけましておめでとうございます

新たな年、2023年が始まりました。あけましておめでとうございます。みなさんは、1年生の締めくくりに向け気持ちを新たに勉強や部活動にがんばって欲しいと思います。また、あと3ヶ月がすぎると2年生です。4月には新入生が入学してきます。尊敬される先輩になれるかは3学期がとても重要です。例えば、明るく元気な挨拶、大きく響く校歌、自発的な掃除、活発な生徒会活動など、学校や学年のレベルを上げるも下げるも3学期で決まります。何事にも一生懸命に取り組むみなさんを見て、後輩が尊敬し、信頼し、そんな先輩になりたいと目標を持ちます。津幡南中の主役はみなさん一人ひとりです。後輩の目標となる2年生になるために頑張りましょう。



3学期はこんな生徒になってほしい！！

3学期は、1年生を締めくくる大切な学期です。そこで、学年の先生方は、みなさんにこんな生徒になってほしいと考えています。一人ひとり、意識して取り組みましょう。

① 後輩から信頼される先輩になろう

～何にでも挑戦し、人一倍真面目に取り組む優しい生徒になろう～

② あたり前なことが自然にできる生徒になろう

～服装、持ち物、言動、行動が自然に正しくできる生徒になろう～

③ 他人の気持ちになって考えられる生徒になろう

～優しい言葉、励ます言葉、心配する言葉が自然に言える生徒になろう～



「成人の日」に考える

9日は成人の日でした。法律上、満18歳以上の人は大人として扱われます。社会人としての地位が与えられ、いろいろな権利が認められる成人。みんなで、大人になったことを祝い、励ます日なのです。ところで、大人になるということは、自分に責任を持つということです。この世に生きていく上で、社会上のいろいろなルール、決まりを自分の責任で守っていくということになります。ところが、公園や道路に平気でゴミを散らかす人、電車内やお店の中で大声をあげてスマホ（携帯電話）で話をする人、成人式で騒ぎを起こす人など、成人の中にも未成年の中にも、社会性が欠如していると思われる人がいます。「自分の責任」について、どう考えるのか。大人をどういう目で見ているか。自分が大人になった時には、どんな人間になりたいか。大人に近づきつつある中学生に、これを機に考えてもらいたいものです。



親子で進路を…

最近、生徒たちにつけたい力として「生きる力」という言葉がよく出てくるのはご存じでしょうか。自分で進んで考え、判断する力が、この中に入っています。この力を大いに育みたいものです。4月には生徒たちは、いよいよ中学2年生に進級します。そしてそのあとは、高校、大学をめざす生徒や、職業に就くことを考える生徒もいます。時間はあっという間に過ぎていきます。これからの行く先、わが子はどんな進み方をしたいのか、一度親子でじっくり話し合う時間を持ってみたいはいかがでしょうか。その際、親として、人生の先輩として送るアドバイスも大切ですが、肝心の子どもが主体性をもって、自分で真剣に考え、判断していく態度を認め励ますことも大切です。わが子の考えにじっくり耳を傾けてみてはどうでしょうか。2月1日（水）の「働く人に学ぶ会」も参考にしたいと考えます。

「働く人に学ぶ会」講師一覧

講師選択	職 種	講 師
選択A	病院関係	河北中央病院看護師
	報道関係	朝日新聞社局長
選択B	金融関係	北陸銀行津幡支店長
	スポーツ関係	ツエーゲン金沢スクールコーチ
選択C	食品関係	おい！なんだこれは！（パン屋）
	畜産関係	JA 畜産部畜産生産課
選択D	動物関係	犬の訓練師
	警察関係	富山県高岡警察署職員
選択E	保育関係	ちいろばこども園保育教諭
	司法関係	金沢地方裁判所書記官
選択F	理容美容関係	FIORE（美容室）
	音楽関係	ジャズミュージシャン



魔法のことば（ちょっとしたい話）

これは、私が中学2年生だった時の話です。当時、私はクラスメイトの一部から、からかわれていたことがありました。はじめは、「ほっておけばいずれ終わるだろう。」と思っていましたが、そのからかいが、しばらく続き、だんだんと「学校が楽しくないな。」「行きたくないな。」と感じるようになりました。

当時の私は「学校は行くもの」と捉えており、「行きたくないけど行かなきゃならない。」と考えることで、余計つらくなっていました。あるとき、気持ちが抑えられなくなったのでしょうか。学校で涙が止まらなくなったのです。しかし、その時対応してくださったある先生の言葉が、私を救ってくれました。

その先生は泣いている私の隣にずっといてくれて、私の気持ちが落ち着くと世間話をしてくれ、私を楽しませてくれました。私が、「からかわれていて、学校に行きたくないんだ。」と伝えると、「学校、休んでいいよ。」と言ってくださいました。私は、まさか、学校の先生からそんなことを言ってもらえるとは思っていませんでしたし、その言葉を聞いて、スッと気持ちが楽になり、心が軽くなったことを、今でも覚えています。

それから何日か学校を休みましたが、しばらくして再び学校に行けるようになりました。あの時、話を聞いてくださった先生に、まだお礼が言えていないので、いつか出会える機会があれば、「魔法のことばをありがとうございました。」とお礼が言えたらいいなと思います。

